

2018年度

# 名古屋外国語大学大学院

博士前期課程

学生募集要項

英語教授法（TESOL）コース

名古屋外国語大学

## 目 次

### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

#### 2018年度 博士前期課程 英語教授法（TESOL）コース 学生募集要項

I 学生募集要項	1
II 受験についての諸注意	6
III 学 費	8

#### 出願提出用所定用紙

1. 入学志願票	[所定用紙A]
2. 受験票・写真票・座席票・入学検定料振込証明書貼付票	[所定用紙B]
3. 研究計画書	[所定用紙C-1, C-2]
4. 経歴書	[所定用紙D]
5. 就学に係る経費負担計画書（外国人出願者のみ）	[所定用紙E]

#### 事前審査・個別審査申請用所定用紙

1. 事前審査・個別審査申請書	[所定用紙F]
2. 個別審査出願理由書	[所定用紙G]
3. 経歴書	[所定用紙D]

## アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)

国際コミュニケーション研究科では、学園の建学の精神である「人間教育と実学」に立ち、言語を中心にすえて、国際理解に必要な知識・技能を総合的に研究・教授する機関として、研究者養成とともに、現代国際社会で活躍する高度な専門知識を持った職業人の育成を目的としています。

### 【博士前期課程】

博士前期課程では、外国語や日本語の運用能力、専門分野の基礎的な知識、研究能力の基礎とともに、研究意欲を持ち、研究者、高度専門職業人を目指し、広い視野に立って研究をとおして国際社会で貢献しようとする人を求めます。

### 個人情報の取り扱いについて

名古屋外国語大学（以下本学）は、個人情報保護に関連する法令を遵守します。また収集した個人情報は、厳格に管理します。

#### ・利用目的について

出願にあたって提出された氏名、住所その他の個人情報は、本学において、①出願・選考・入学手続、②学事に関する管理、連絡および手続、③学生生活全般に関する管理、連絡および手続、④学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、⑤本人および保証人宛に送付する各種書類の発送その他の連絡、⑥個人を特定しない形式での統計資料作成と、これらに付随する事項を行うために利用します。

#### ・第三者への個人情報の提供について

取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。ただし、個人情報の保護に関する法律の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することがあります。

<問い合わせ先>

名古屋外国語大学 大学院事務室

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57

Tel : 0561-74-1111(代表) Fax : 0561-75-1740 URL : <http://www.nufs.ac.jp/>

## I 学生募集要項

### 1. 募集研究科・専攻・課程、コース、募集人員

研究科	専攻	課程	コース	募集人員
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻	博士前期課程	英語教授法 (TESOL)コース	博士前期課程全ての合計で20名

※各コースにおける定員はありません。

### 2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、かつ下記の必須条件に該当するもの

- ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 外国において学校教育における15年の課程を修了した者または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者 【要事前審査】
- ⑨ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者 【要事前審査】
- ⑩ 学校教育法第102条第2項の規定により大学に3年以上在学し他の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- ⑪ 本学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの 【要個別審査】

#### 必須条件

- ① 2018年4月1日現在で1年以上の英語教育の経験があり、入学後も引き続き英語教員として英語教育機関に在職する者（個人教授は除く）
- ② 英語で行われる講義が受講可能な英語能力のある者
- ③ 出入国管理及び難民認定法において、本学大学院への入学に支障のない在留資格を確実に取得できる者 [日本の国籍を有しない者のみ]  
※本大学院英語教授法(TESOL)コースに入学することにより、留学ビザを取得することはできません。

### 3. 事前審査・個別審査

#### (1) 事前審査・個別審査の申請

##### 【事前審査】

出願資格⑧または⑨により出願する者は、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認める事前審査の申請を次のとおり行うこと

##### 〔提出書類〕

- ① 事前審査申請書 [所定用紙 F]
- ② 経歴書 [所定用紙 D]  
※ 英語教育、英語能力に関する資格がある場合：英語教員免許状の種類、TOEFL・TOEIC の点数、英検等の取得級および各資格の取得年月日を明記すること
- ③ 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日記載のもの）
- ④ 最終学校の学業成績証明書

上記①～④までの書類等を取りまとめ、封書にて、期日までに大学院事務室へ申し込むこと

※ 封筒の形、大きさは特に定めないが、必ず表に朱書きで「事前審査申請書類在中」と記載することとし、出願用封筒では送付しないこと

##### 〔申請期日〕

2017年12月 4日（月）〔郵送に限る・締切日消印有効〕

##### 【個別審査】

出願資格⑩により出願する者は、出願資格を認める個別の入学資格審査（個別審査）の申請を次のとおり行うこと

##### 〔提出書類〕

- ① 個別審査申請書 [所定用紙 F]
- ② 個別審査出願理由書 [所定用紙 G]
- ③ 経歴書 [所定用紙 D]  
※ 英語教育、英語能力に関する資格がある場合：英語教員免許状の種類、TOEFL・TOEIC の点数、英検等の取得級および各資格の取得年月日を明記すること
- ④ 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日記載のもの）
- ⑤ 最終学校の学業成績証明書

上記①～⑤までの書類等を取りまとめ、封書にて、期日までに大学院事務室へ申し込むこと

※ 封筒の形、大きさは特に定めないが、必ず表に朱書きで「個別審査申請書類在中」と記載することとし、出願用封筒では送付しないこと

##### 〔申請期日〕

2017年12月 4日（月）〔郵送に限る・締切日消印有効〕

#### (2) 事前審査・個別審査の結果通知

審査の結果は、研究科長より本人宛に郵送で通知する

#### (3) 事前審査・個別審査における選考基準

最終学校の学業成績、経歴書等を総合的に審査して決定する

#### 4. 出願提出書類

下記の書類を、本学所定の出願用封筒に入れて、書留速達郵便で一括郵送すること

書類名	備考
①入学志願票 [所定用紙A]	
②受験票・写真票・座席票・入学検 定料振込証明書貼付票 [所定用紙B]	
③大学卒業証明書	外国の大学を卒業した場合は、卒業証書のコピーでもよい
④大学院の修了証明書	・大学院修了者のみ(出身大学長が作成したもの) ・外国の大学院を修了した場合は、修了証書または学位記のコピーでもよい
⑤学業成績証明書	・学部以上すべての大学発行の成績証明書 ・出身大学長が作成し厳封したもの
⑥研究計画書 [所定用紙C-1, C-2]	次の点について <b>1,200 字</b> 程度にまとめたもの(参考文献の字数は含まない) ①研究テーマとその研究理由(研究対象や調査対象を含む) ②研究方法と具体的な研究手法(文献研究、アンケート調査、インタビューなど具体的な研究の進め方) ③計画する研究(在学)期間(2年、3年等)と論文を完成させるまでのスケジュール
⑦小論文(英文)	題目: Write the reasons why you apply for this MA in TESOL Program. 語数: 800語程度 用紙サイズ: A4縦型
⑧経歴書 [所定用紙D]	英語教育、英語能力に関する資格がある場合: 英語教員免許状の種類、TOEFL・TOEIC の点数、英検等の取得級および各資格の取得年月日を明記すること
⑨在職証明書	所属長の受験承諾書を兼ねる
⑩英語教員免許状の写し	免許状取得者のみ
⑪宛名シール [所定用紙]	宛名明記のこと

注1) p.1 出願資格⑧、⑨の事前審査または出願資格⑩の個別審査により出願を認められた者は、書類③④⑤⑧の提出は不要

注2) 本大学院英語教授法(TESOL)コース科目等履修者は、書類③④⑤⑩の提出不要

注3) 外国人学生(日本国籍を有さない者)は、①～⑩の提出書類の他に次の⑫～⑭の書類を提出すること

書類名	備考
⑫(a)「在留カード」の両面コピー または市区町村発行の「住民 票の写し」(原本) <sup>※1</sup>  (b)パスポートのコピー <sup>※2</sup>	(a) 日本国内に居住する者 ※1 国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの  (b) 海外居住者および短期滞在者 ※2 氏名、国籍、番号、写真、生年月日が記載されているページのコピー
⑬就学に係る経費負担計画書 [所定用紙E]	本学在学中に必要な学費生活費等の経費および当該経費を支弁する原資について記載したもの
⑭資力を証明する書類	源泉徴収票、確定申告書の写し、年間の所得証明書、預金残高証明書等

注4) 英語以外の外国語の書類は、必ず日本語の訳文を付けること

注5) 各証明書は3ヶ月以内に発行されたものでコピー不可

## 5. 出願に関する注意事項

- ① 出願書類は、いかなる理由があっても返却しない
- ② 出願書類および入学手続きの書類に虚偽があった場合、合格を取り消す

## 6. 入学検定料と振込方法

### (1) 入学検定料

35,000円

### (2) 振込方法

- ・本学所定の振込用紙を必ず使用し、銀行等金融機関（ゆうちょ銀行不可）から「電信扱」で振り込むこと
- ・現金、為替等は一切受け付けない。また、現金自動預支払機(ATM)は利用しないこと
- ・三菱東京UFJ銀行本支店に限り、振込手数料は大学側が負担する
- ・検定料振込の際は、領収書・入学検定料振込証明書に銀行印があることを必ず確認すること
- ・領収書は必ず受験票が届くまで保管しておくこと
- ・振り込まれた入学検定料は、いかなる理由（受験辞退）でも返還しない

※ 海外からの受験者は、振込金額、振込方法について事前に大学院事務室で確認すること  
(問い合わせ先：裏表紙に記載)

## 7. 入学試験日等日程

### (1) 出願期間（郵送に限る・締切日必着）

2018年 1月 4日（木）～ 1月17日（水）

### (2) 試験日

2018年 2月17日（土）

### (3) 合格発表日（受験者全員に速達・簡易書留にて通知）

2018年 2月23日（金）

### (4) 第1次入学手続締切日（締切日納付金振込有効）

- ・入学金の納付

2018年 3月 9日（金）

### (5) 第2次入学手続締切日（締切日納付金振込有効）

- ・1期分の授業料および教育充実費の納付

2018年 3月 9日（金）

### (6) 納付金返還申出期日

2018年 3月30日（金） 17時まで

## 8. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 口頭試問（英語による面接試験）

## 9. 試験会場

名古屋外国語大学（愛知県日進市岩崎町竹ノ山57）

## 10. 入学手続納付金

### (1) 第1次入学手続納付金

入学金 100,000円

（名古屋外国語大学卒業生および本学学部研究生、本学大学院修士課程生および本学大学院研究生として在学した者は、入学金を免除する）

### (2) 第2次入学手続納付金（2017年度入学者実績）

授業料（1期分） 286,875円<sup>※1</sup>

教育充実費（1期分） 47,500円<sup>※2</sup>

---

合計 334,375円

※1 本コース授業料は、奨学金給付により本学大学院授業料から25%減免された金額

※2 本コース教育充実費は、奨学金給付により本学大学院教育充実費から50%減免された金額

### (3) 納入方法

- ・入学手続締切日までに本学所定の振込用紙にて銀行等金融機関（ゆうちょ銀行不可）より納入すること
- ・入学手続納付金振込の際は、領収書および入学手続納付金振込証明書に銀行印があることを必ず確認すること

### (4) その他

第2次入学手続納付金納入後、3月12日（月）までに第1次／第2次入学手続納付金振込証明書を本学大学院事務室に郵送すること

## 11. 入学辞退に伴う納付金一部返還

入学手続を完了した者で、入学手続納付金返還申請締切日までに入学辞退を届け出た者については、入学金を除いた学費（授業料、教育充実費）を返還する



## II 受験についての諸注意

### 1 試験日日程

9時00分～ 9時45分	受験者控室入室
9時45分～10時00分	諸連絡
10時00分～	口頭試問

### 2 試験会場への交通機関

- ・入学試験日当日は、地下鉄東山線「上社」駅および地下鉄鶴舞線「赤池」駅から大学専用バスを下表のとおり運行する（当日は、受験票を提示することにより専用バスは無料で利用できる）ただし、途中乗車はできない

- ・受験生用専用バス時刻表

#### ① 地下鉄東山線「上社」駅

「上社」発車時刻	
時	分
8	10より10分間隔
9	00 10 20

#### ② 地下鉄鶴舞線「赤池」駅

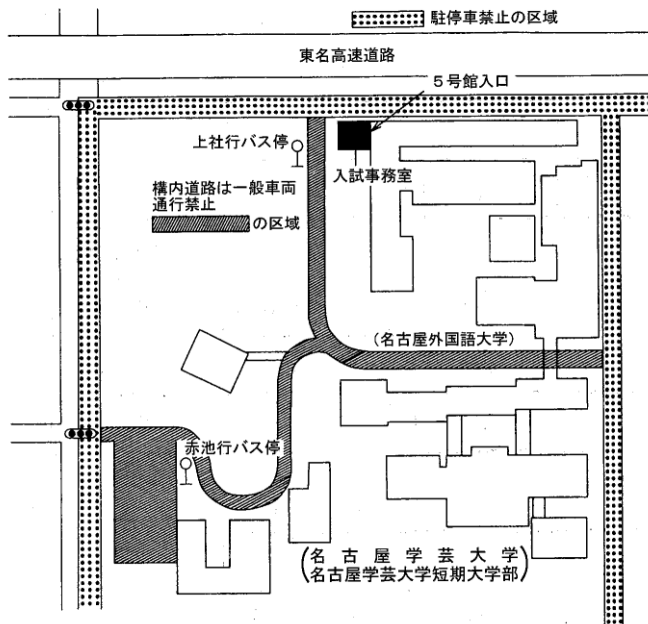
「赤池」発車時刻	
時	分
8	20 40
9	00 20

- ・帰宅用の大学発「上社」駅行および「赤池」駅行の専用バスの発車時刻および乗車場所は、入学試験日当日に連絡する

### 3 試験会場への入場

- ・試験会場は午前9時に開場する
- ・口頭試問は午前10時に開始するので、午前9時45分までに受験者控室に入室すること
- ・口頭試問開始15分前に、受験生の出席確認、顔写真の照合を行う
- ・午前10時30分（口頭試問開始後30分）以降の遅刻は認めない（受験資格の失効）

#### 4 試験会場案内図



#### 5 その他

- ・ 受験票の未着、忘失の場合は、入学試験日当日に入試事務室にて仮受験票の発行を受けること
- ・ 試験会場内は禁煙である
- ・ 口頭試問時および口頭試問待機時は、必ず携帯電話・PHS等の電源を切ること

### Ⅲ 学 費

#### 1 学 費（2017年度入学者実績）

この学費は2017年度入学者実績によるもので、2018年度入学者に対する費用は、合格者に送付する「入学手続きにあたって」で連絡する

費用	1年次		2年次		合 計 (円)
	1 期	2 期	1 期	2 期	
入学金 ※ <sup>1</sup> (本学卒業生等免除)	100,000				100,000
授業料 ※ <sup>2</sup>	286,875	286,875	286,875	286,875	1,147,500
教育充実費 ※ <sup>3</sup>	47,500	47,500	47,500	47,500	190,000
(学期合計)	434,375	334,375	334,375	334,375	1,437,500
合 計	768,750		668,750		
本大学院入学前に 科目等履修生として 在学した者 ※ <sup>4</sup>			(科目等履修生として 支払った金額) 〈例〉10 単位を履修した場合 ; △180,000 (検定料+入学金+授業料)		(△180,000)
	768,750		488,750		(1,257,500)

※<sup>1</sup> 入学金については、名古屋外国語大学卒業生および本学学部研究生、本学大学院修了生および本学大学院研究生として在学した者は免除する

※<sup>2</sup> 本コース授業料は、本学大学院授業料から25%減免された金額（授業料の25%の奨学金を給付する）

※<sup>3</sup> 本コース教育充実費は、本学大学院教育充実費から50%減免された金額（教育充実費の50%の奨学金を給付する）

※<sup>4</sup> 大学院入学前に科目等履修生として在学した者は、大学院入学後2年次授業料から科目等履修生として支払った金額（検定料、入学金、授業料）が差し引かれる

#### 2 納入方法

- ・入学金は第1次入学手続き時に、また、1年次1期分の授業料と教育充実費は第2次入学手続き時に、それぞれ本学指定振込用紙を使用し、銀行等金融機関（ゆうちょ銀行不可）より振込にて納入すること
- ・本学では、1年次2期以降の学費はすべて三菱東京UFJ銀行またはゆうちょ銀行からの引き落とし扱い（キャッシュレスシステム）であるため、入学手続き以降に三菱東京UFJ銀行またはゆうちょ銀行の口座を開設すること（既に口座のある場合は必要ない）
- ・キャッシュレスシステムの指定口座等の手続きについては、入学手続き以降に連絡する
- ・引き落とし期日

2年次1期 4月 1日

1・2年次2期 9月16日

（ただし、金融機関が休業日の場合は、翌営業日の引き落としとなる）

**名古屋外国語大学 大学院事務室（5号館4階）**

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57

Tel: (0561) 74-1111 (代表)

E-mail: injimu\_gg@nufs.ac.jp